



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。 ※ 内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品は複層ガラスを使用するため、かなりの重量がかかります。障子の外れ・落下防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・窓台は45×100mm以上、間柱は30mm以上の材料で開口部を作ってください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす（調整する）場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
 - ・指定のスクリー釘・木ねじで枠を固定してください。
- 障子が勢いよく開いて、ケガ・部品破損の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・障子は必ず枠を立てた状態で建込んでください。
 - ・障子建込み後は、枠固定時までクレセントをかけておいてください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付け後、枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。

■取付け上のお願

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。
- balanser 部品箱は別売りです。

■部品・ねじ一覧表

※本文図中の①～⑧は、部品・ねじの種類を示します。

① スクリー釘 φ2.1×32	② 皿木ねじ φ3.1×20	③ アーム スライダー	④ 障子 ストッパー
⑤ トラス小ねじ M4×6	⑥ バインド小ねじ先付 M4×10	⑦ 外障子上部 振止め	⑧ 気密ピース

● balanser 部品箱(別売り)

balanser 取付け用
⑨ バインド小ねじ M4×10
⑩ balanser

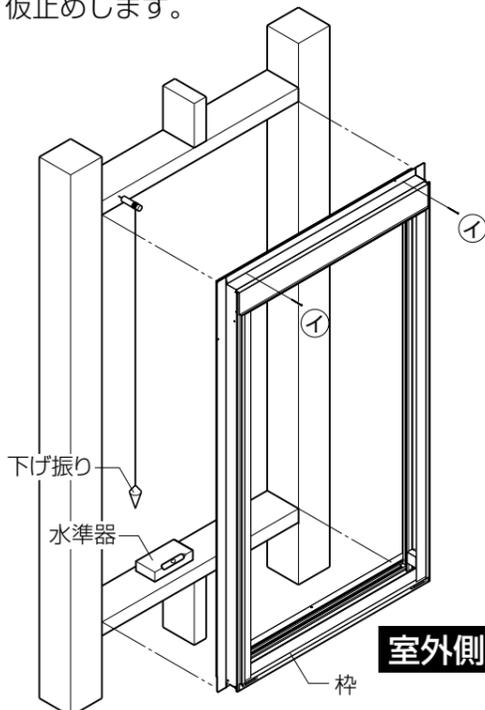
■取付け順序

- 1 枠の仮止め
- 2 枠の調整と固定
- 3 balanser の取付け
- 4 外障子の建込み
- 5 内障子の建込み
- 6 balanser の調整
- 7 上枠カバー材の取付け

■取付け詳細

1 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

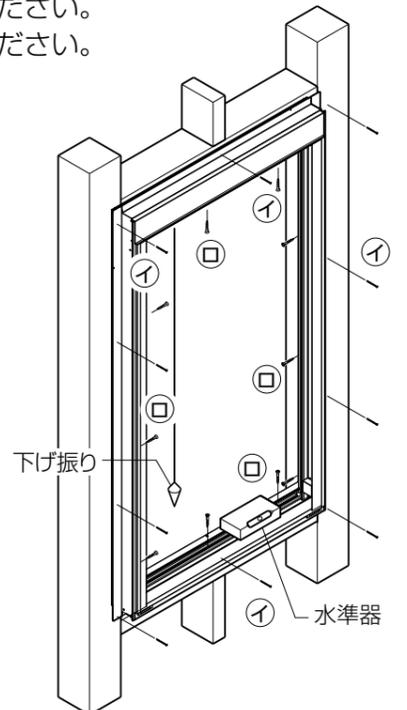
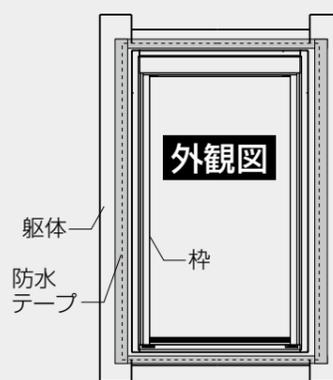


2 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後、固定します。
※固定後、必ずbalanserの調整を行ってください。
※枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
開閉不良の原因になることがあります。

▲注意

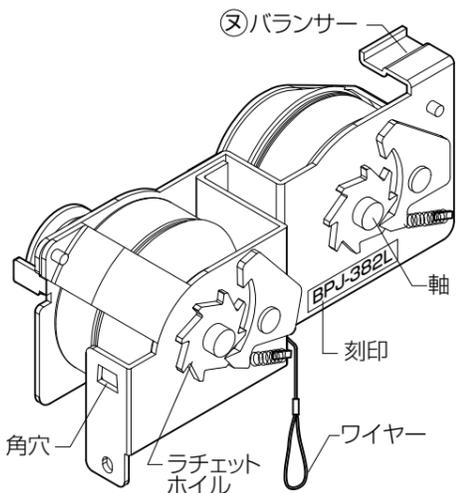
- 本製品取付け後、枠と躯体の取合わせ部に防水テープ（別売り）を張ってください。



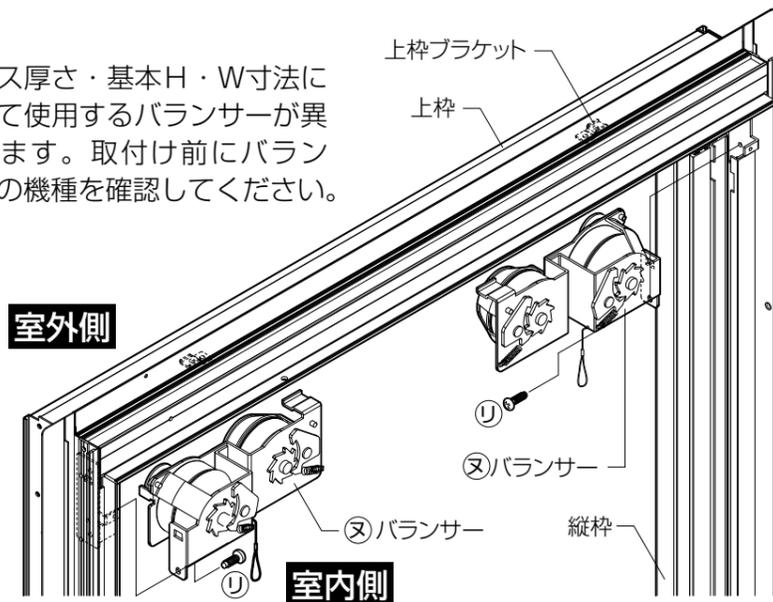
3 バランサーの取付け

お願い

- 障子建込み前にバランサーのワイヤーを引き出したり、ラチェットホイールを回したりは絶対にしないでください。障子が建込めなくなったり、バランサーが破損したりすることがあります。
- バランサーの正面に部品番号の刻印がありますので、その末尾で、L (内観左)・R (内観右)を確認してください。
- バランサーは必ず枠を立てた状態で取付けてください。

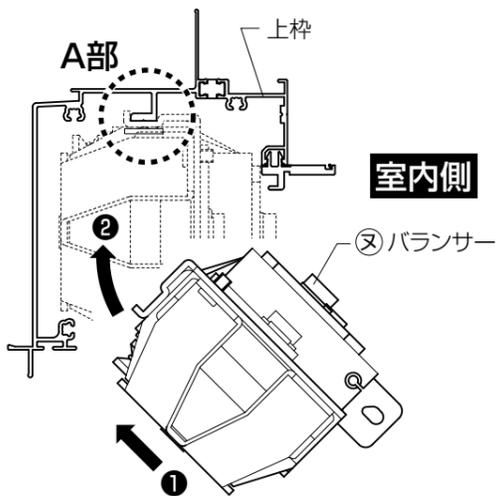


※ガラス厚さ・基本H・W寸法によって使用するバランサーが異なります。取付け前にバランサーの機種を確認してください。

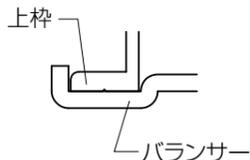


①バランサーを45°傾けて、上枠に差込みます。

②バランサーの軸が室内側正面を向くように回転させて上枠に納めます。バランサーの溝を上枠のレールに当てがいます。



■A部詳細図

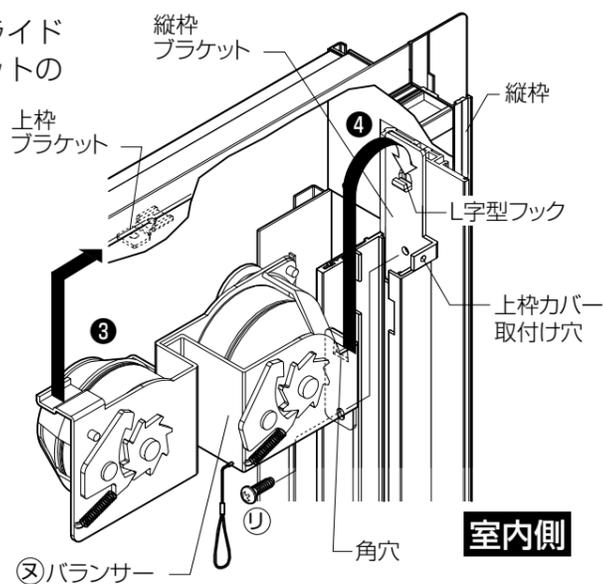


③バランサーを縦枠側にスライドさせ、上枠と上枠ブラケットの間に挟み込みます。

④縦枠についているブラケットのL字型フックにバランサーの角穴を引っ掛けます。

⑤バランサーを縦枠ブラケットにねじ止めします。

⑥同様にもう一方のバランサーを取付けます。



4 外障子の建込み

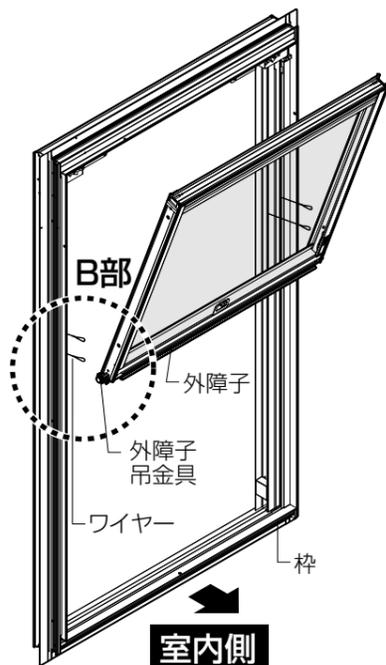
※必ず障子の内外を確認し、外障子→内障子の順に建込んでください。

①ワイヤー先端を外障子吊金具の溝にはめ込みます。

②障子を起し、けんどんで枠に障子を建込みます。

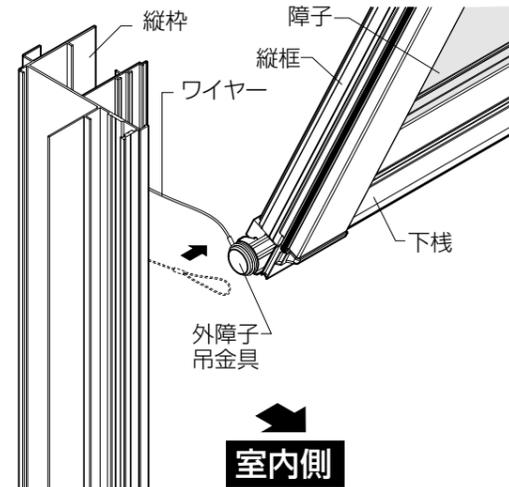
▲注意

- 障子は必ず立てた状態で建込んでください。
- 建込み後は取付けまでクレセントをかけておいてください。



■B部詳細図

※ワイヤーは必ず外障子吊金具の溝にはめ込んでください。ワイヤーが外れるとバランサーが破損するおそれがあります。



③上枠に外障子上部振止めをねじ止めします。

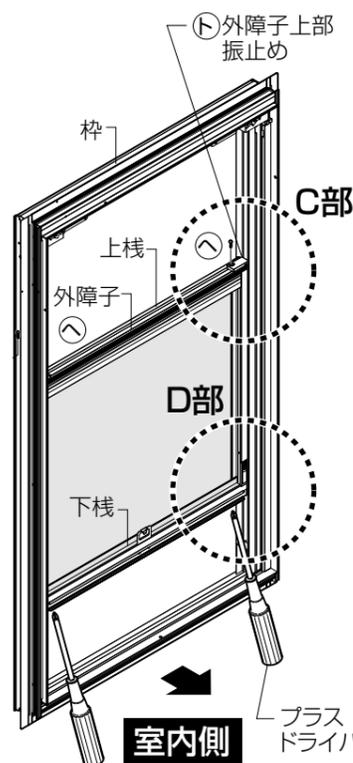
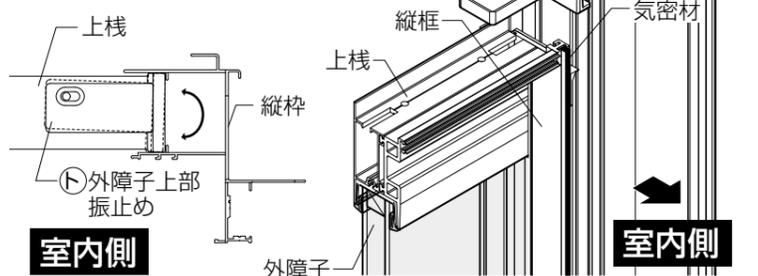
※縦枠の気密材が左右とも縦枠にかくれるように位置を合わせてください。

④下枠の外障子吊金具のねじを外障子吊金具が左右に動くくらいに緩め、外障子吊金具を縦枠側に軽く押し当てながらねじを締め直します。

■C部詳細図

※ねじは必ず手締めにしてください。

※障子開閉時に外障子上部振止めからきしみ音が発生する場合は、外障子上部振止めの向きを調整してください。



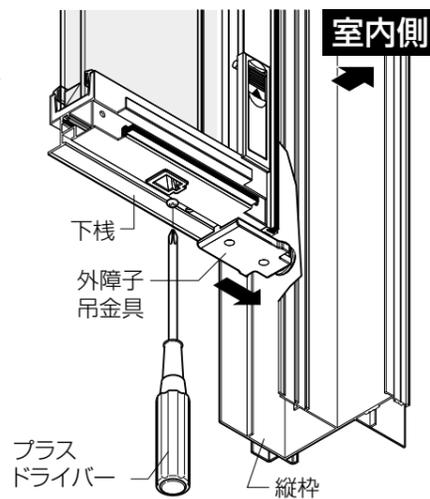
■D部詳細図

①外障子吊金具を縦枠側にすらしてねじを締めます。

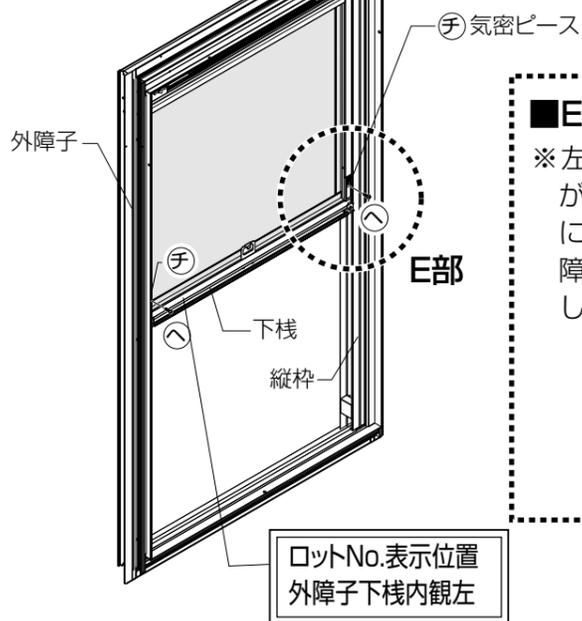
②左右とも固定した後、障子が1mm程度のガタツキになっていることを確認します。

※まったくガタがないと施工状態などによっては開閉が重くなる場合があります。

※障子開閉時に外障子吊金具からきしみ音が発生する場合は、再度調整を行ってください。

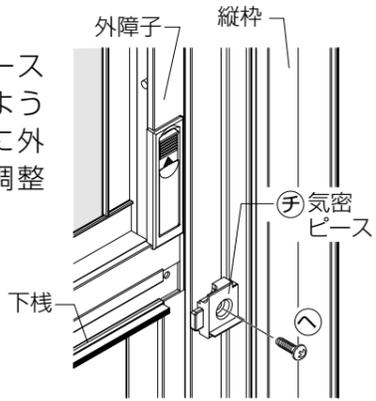


⑤下棧に気密ピースを
ねじ止めします。



■E部詳細図

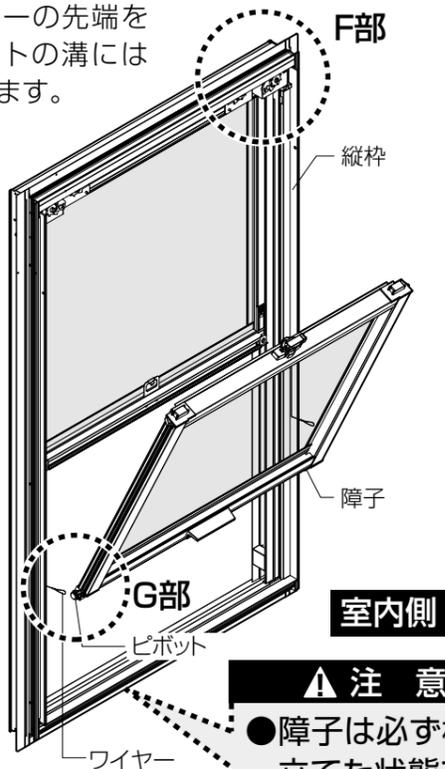
※左右の気密ピースが縦枠と同じようにあたるように外障子の位置を調整してください。



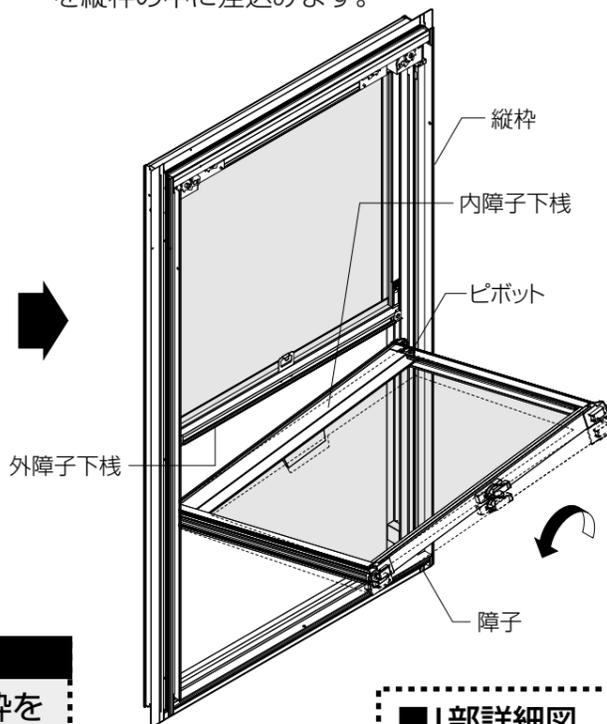
ロットNo.表示位置
外障子下棧内観左

■内障子の建込み

- ①バランサーに引っ掛かっているワイヤーを外し、縦枠内に垂らします。
- ②ワイヤーの先端をピボットの溝にはめ込みます。

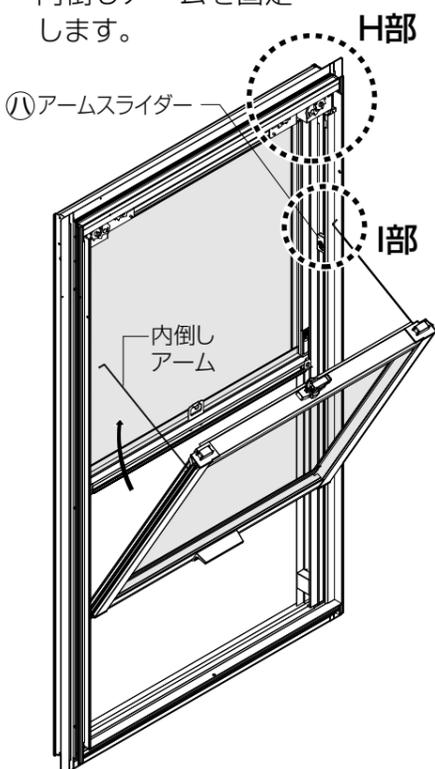


- ③内障子の下棧を外障子下棧より下に引き下ろし、障子を斜めにしてピボットを縦枠の中に差込みます。

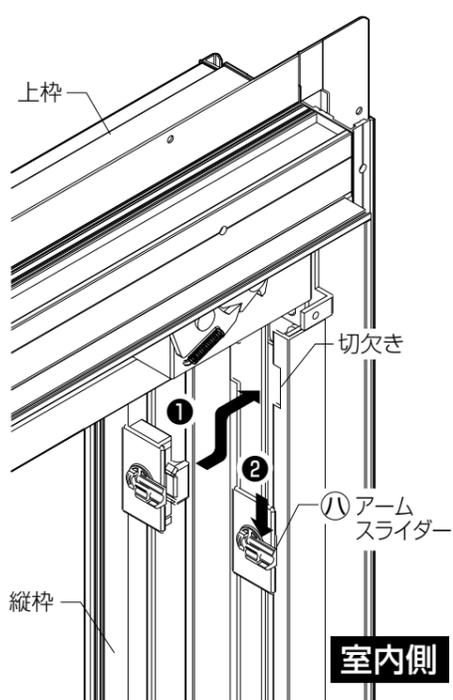


▲注意
●障子は必ず枠を立てた状態で建込んでください。

- ④アームスライダーを縦枠の切欠きから差込みます。
※H907未満には内倒しアームがついていませんので、アームスライダーは使用しません。
- ⑤アームスライダーに内倒しアームを固定します。

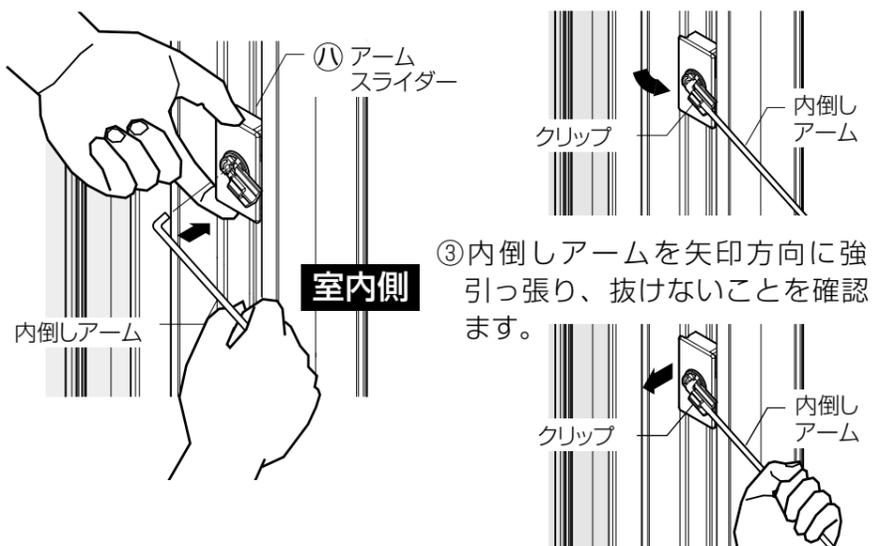


■H部詳細図



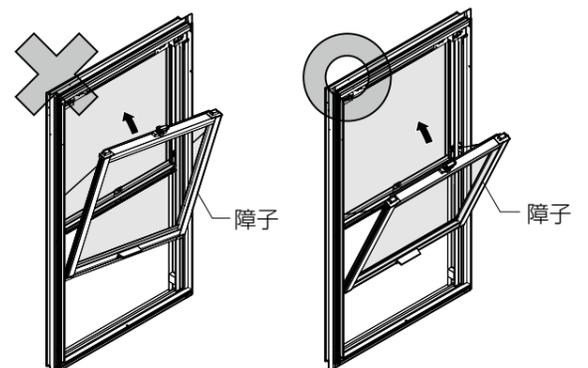
■I部詳細図

- ①アームスライダーに内倒しアームを差込みます。
- ②クリップを反時計回りに回し、内倒しアームにはめ込みます。

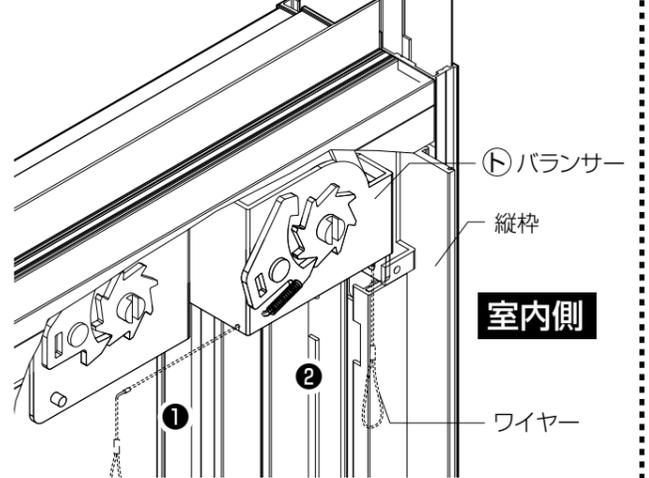


- ③内倒しアームを矢印方向に強く引っ張り、抜けないことを確認します。

※障子は必ず水平にして、内倒し状態から起こしてください。障子を傾いた状態で起こすと、部品が破損することがあります。

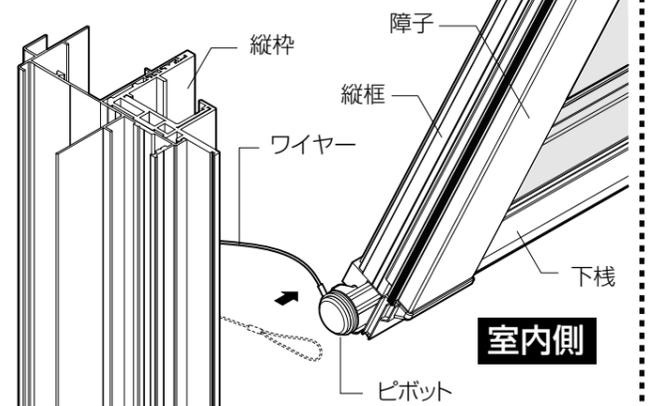


■F部詳細図



■G部詳細図

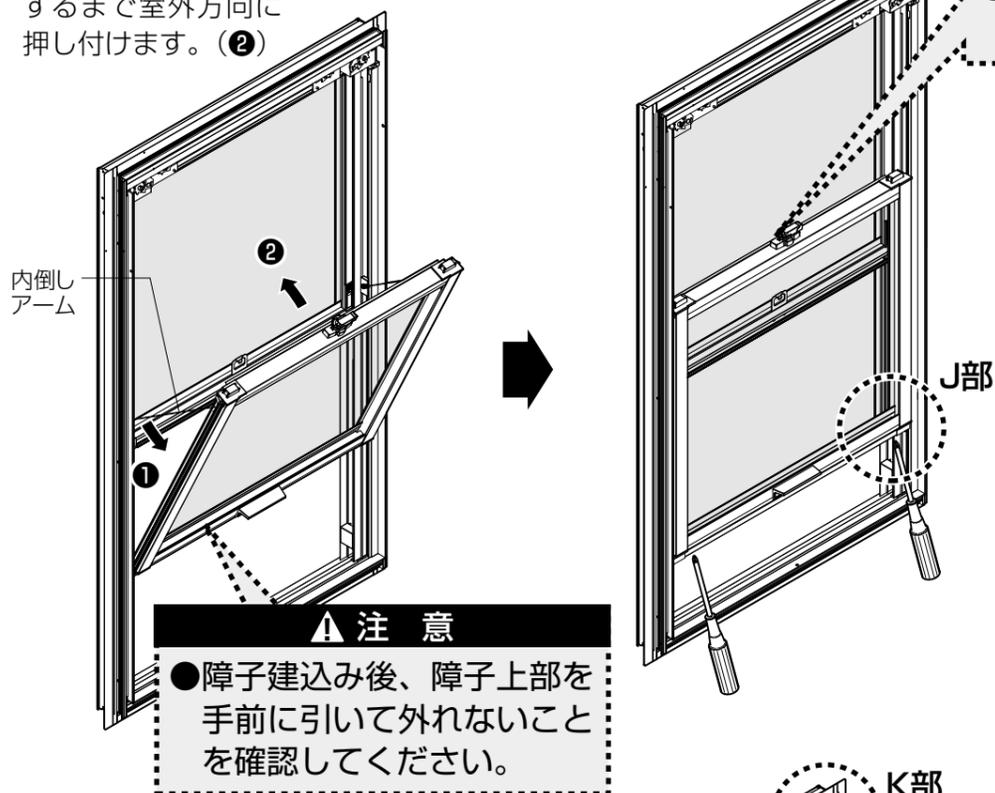
※ワイヤーは必ずピボットの溝にはめ込んでください。ワイヤーが外れるとバランサーが破損するおそれがあります。



⑥内倒しアームを押し下げながら(1)障子を起し、「カチッ」という音がするまで室外方向に押し付けます。(2)

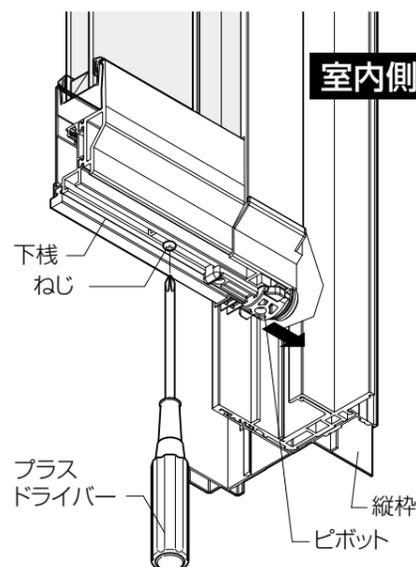
⑦ピボットのねじ位置を調整します。

▲注意
●障子建込み後は、枠固定時までクレセントをかけておいてください。



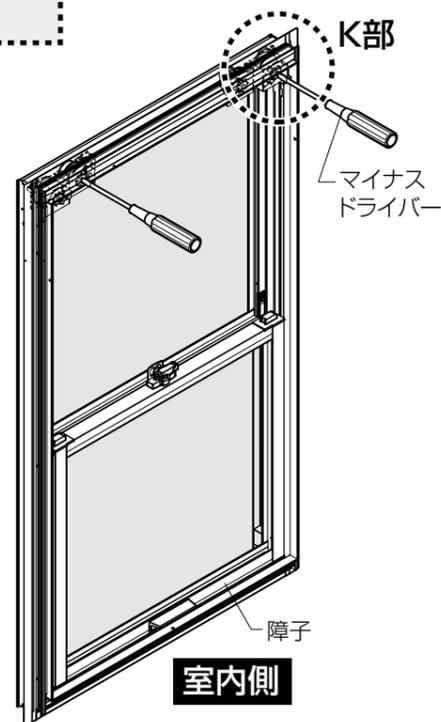
■J部詳細図

- ①ピボットが左右に動く程度にねじを緩めます。
 - ②ピボットを縦枠側にずらしてねじを締めます。
 - ③左右とも固定した後、障子が1mm程度のガタツキになっていることを確認します。
- ※まったくガタがないと施工状態などによっては開閉が重くなる場合があります。



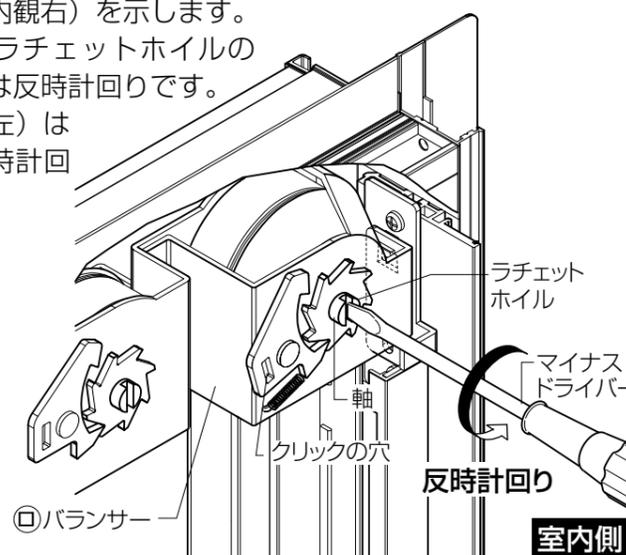
6 バランサーの調整

- ※バランサーの調整は、枠固定後にも必ず行ってください。
- ①障子を一番下に下げます。
 - ②障子の上げと下げの力がほぼ同じになるよう、バランサーのラチェットホイールの軸をマイナスドライバーで回して調整します。
- ※左右とも同じ回転数にしてください。ラチェットホイールを回しすぎたときは、クリックの穴にマイナスドライバーを差込んで回し、戻してください。



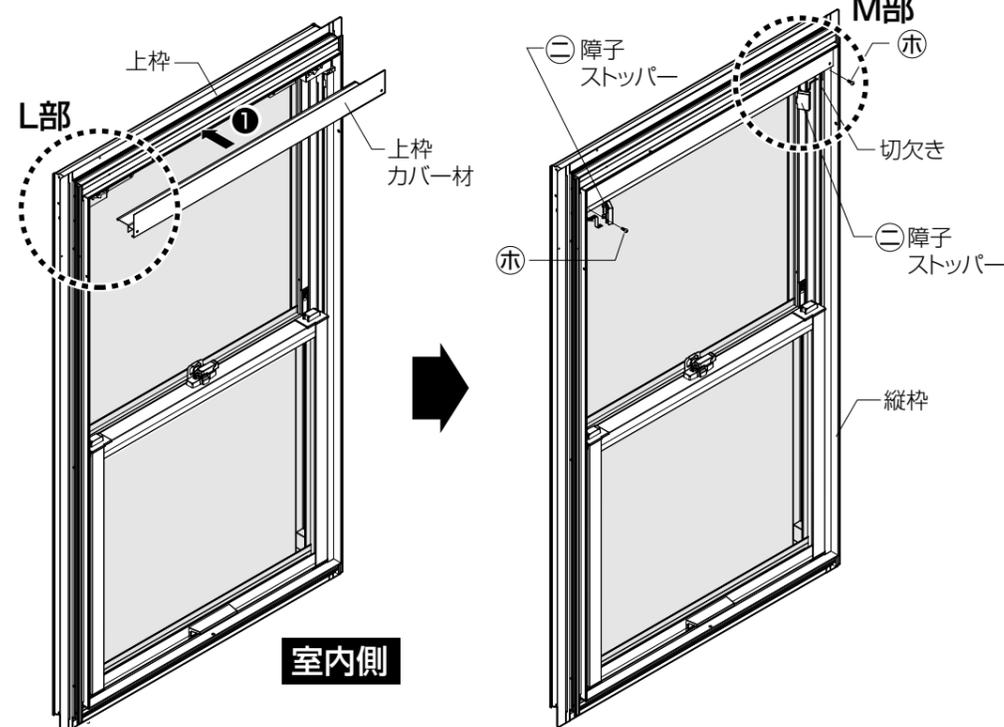
■K部詳細図

- ※図はR (内観右) を示します。このときラチェットホイールの回転方向は反時計回りです。
- ※L (内観左) は逆回転 (時計回り) です。



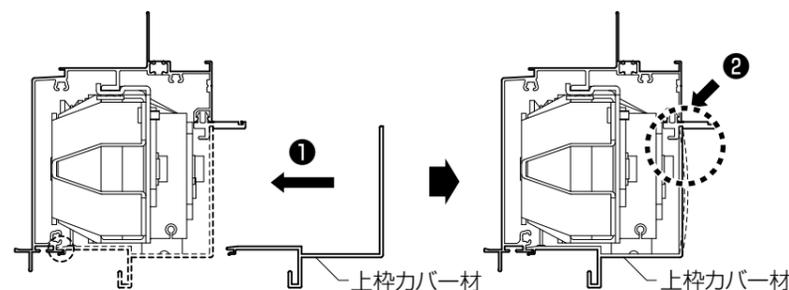
7 上枠カバー材の取付け

- ①上枠カバー材の溝を上枠にはめ込みます。(1)
 - ※左右の角度を傷付けないようにしてください。
 - ②矢印部を押し、上枠カバー材をたわませながら(2)上枠の溝にはめ込みます。
 - ③上枠カバー材を上枠カバー材取付け穴にねじ止めします。
 - ④障子ストッパーを縦枠の切欠きに室内側より引っ掛け、「パチン」と音がするまで押し付けます。
- ※障子ストッパーを外す場合、図の方向と逆に室外側より回転させて外してください。



■L部詳細図

- ※上枠カバー材を外す場合、取付けねじを外しても上枠カバー材が外れないときは、下記同様に上枠カバー材をたわませて外してください。



■M部詳細図

